

平成 30 年度
事業報告書

社会福祉法人吉田町社会福祉協議会

目 次

第 1	平成30年度新規・重点目標に対する取り組みについて・・・・・・・・	P 1
第 2	平成30年度各事業の取り組みについて・・・・・・・・	P 2
1	社会福祉を目的とする事業の企画及び実施・・・・・・・・	P 2
2	社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助 ・・・・・・	P 6
3	社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、 調整及び助成・・・・・・・・	P 10
4	1 から 3 のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を 図るために必要な事業・・・・・・・・	P 12
5	保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡・・・・・・・・	P 13
6	共同募金事業への協力・・・・・・・・	P 15
7	居宅介護支援事業の経営・・・・・・・・	P 16
8	老人デイサービス事業の経営・・・・・・・・	P 16
9	地域包括支援センターの経営・・・・・・・・	P 16
10	老人居宅介護等事業の経営 ・・・・・・	P 19
11	障害福祉サービス事業の経営・・・・・・・・	P 20
12	移動支援事業の経営・・・・・・・・	P 20
13	地域支援事業の経営・・・・・・・・	P 20
14	福祉相談事業・・・・・・・・	P 22
15	善意銀行貸付事業・・・・・・・・	P 24
16	吉田町老人福祉センターの経営・・・・・・・・	P 24
17	福祉サービス利用援助事業・・・・・・・・	P 24
18	その他この法人の目的達成のため必要な事業・・・・・・・・	P 25
19	公益を目的とする事業・・・・・・・・	P 25

第1 平成30年度新規・重点目標に対する取り組みについて

1 WEBサイトの運営

ホームページを開設し、情報の発信と適時内容の更新を行いました。

2 法人後見制度等権利擁護に係る相談窓口の設置

新たに、司法書士による権利擁護相談日を月1回設置し、成年後見制度等必要な人が必要な制度を利用できる支援体制を整えました。

設置回数 12回 月1回

延べ相談件数 21件 うち、成年後見制度に関する相談 4件

3 地域福祉活動の推進及び支援の実施

(1) おいしい集い（介護予防普及啓発事業）

開催回数 7回 9月開始 月1回

延べ参加人数 102人

(2) 健康マージャン教室（介護予防普及啓発事業）

開催回数 11回 9月開始 月2回

延べ参加人数 184人

健康マージャン教室終了後は、卒業生のサークル活動を支援し、男性の居場所づくりへとつなぐことができました。

4 災害時や緊急時の支援体制の充実

(1) 防災講座の実施

災害時のボランティア活動への関心を高め、災害時の広域連携につなげる防災講座を、近隣市町社協と連携し開催しました。

開催日時 平成30年7月6日

開催場所 島田市プラザおおるり

開催内容 災害にも負けない福祉のまちづくり講座

(2) 災害ボランティア人材発掘及び図上訓練

ボランティア登録者へ周知等募集しましたが、参加には至りませんでした。

(3) 災害ボランティアセンター運営マニュアルの検証

災害ボランティアセンター運営研修へ参加しましたが、検証には至りませんでした。

5 生活困窮者自立支援事業の強化

新規相談世帯 35件

家計相談事業の実施（新規）

生活困窮者自立支援事業対象世帯の相談受付件数 0件

生活保護世帯の相談受付件数 5件 延べ相談対応 49件

6 共同募金活用事業の充実

(1) 職域募金の開発 1件

(2) 地域課題解決型募金への取り組み

(3) 新たな募金ツールの開発

ア 町内15か所において、店頭募金を新たに実施しました。

イ 募金型の自動販売機の設置について企業や団体へ提案し、また、健康福祉

センター内への設置を検討しましたが、設置には至りませんでした。

(4) 街頭募金への取り組みの強化

ふれあい広場において街頭募金を実施しました。

第2 平成30年度各事業の取り組みについて

1 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施

(1) 組織体制の強化

新たな事務局規程(平成30年4月1日施行)により法人運営課、包括支援課、在宅福祉課を設置し、効率性や統一性を確保し組織体制を整備し、さらに職位を設け、人材育成等の課題へ取り組む体制を整えました。

(2) 職員資質向上のための活動

ア 10月に全職員を対象とした研修会を開催しました。

内容「個人情報の取扱い及び現金の取扱いについて」出席者数 44人

イ 研修会等への参加 16回

ウ 事例検討会、情報交換会への参加 10回

エ 中部地区社協事務研究部会への参加 7回

オ 管理者会議 13回

カ 衛生委員会 12回

(3) 会員制度の充実

社協の概要、会費制度を説明し特別会員の入会について新しい企業に協力を依頼しました。(新規会員5事業所)

(4) 執行機関、事務局運営

ア 理事会の開催 4回

<開催状況>

第1回理事会(平成30年5月29日)

出席7人/理事総数10人

議事、報告事項	
第1号議案	平成29年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会事業報告について
第2号議案	平成29年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会決算報告について
第3号議案	社会福祉法人吉田町社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
第4号議案	社会福祉法人吉田町社会福祉協議会評議員会の開催について
第1号報告	社会福祉法人吉田町社会福祉協議会会員規程の一部変更について

第2回理事会（平成30年10月15日みなし決議）

書面決議 同意9人/理事総数9人

議事
第1号議案 定時評議員会の開催について

第3回理事会（平成30年11月21日）

出席8人/理事総数10人

議事、報告事項
第1号議案 平成30年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会第1次補正予算について
第2号議案 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会評議員会の開催について
第1号報告 平成30年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会中間監査の結果について
第2号報告 財政的援助団体等監査及び財政的援助団体等監査（公の施設の指定管理者）の結果について

第4回理事会（平成31年2月27日）

出席8人/理事総数10人

議事
第1号議案 平成31年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会事業計画について
第2号議案 平成31年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会当初予算について
第3号議案 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会給与規程の一部改正について
第4号議案 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会評議員会の開催について

イ 評議員会の開催 4回

＜開催状況＞

第1回評議員会（平成30年6月21日）

出席10人/評議員総数13人

議事、報告事項
第1号議案 平成29年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会事業報告について
第2号議案 平成29年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会決算報告について
第1号報告 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会会員規程の一部変更について

第2回評議員会（平成30年10月30日みなし決議）

書面決議 同意13人/評議員総数13人

議事
第1号議案 理事の選任について

第3回評議員会（平成30年12月3日）

出席11人/評議員総数13人

議事、報告事項
第1号議案 平成30年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会第1次補正予算について
第1号報告 平成30年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会中間監査の結果について
第2号報告 財政的援助団体等監査及び財政的援助団体等監査（公の施設の指定管理者）の結果について

第4回評議員会（平成31年3月12日）

出席12人/評議員総数13人

議事、報告事項
第1号議案 平成31年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会事業計画について
第2号議案 平成31年度社会福祉法人吉田町社会福祉協議会当初予算について
第1号報告 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会給与規程の一部改正について

ウ 評議員選任・解任委員会の開催 1回

<開催状況>

第1回評議員選任・解任委員会（平成30年9月13日）

出席4人うち外部委員2人/評議員選任・解任委員総数4人

議 事
第1号議案 社会福祉法人吉田町社会福祉協議会評議員の選任について

エ 監事監査の実施 2回

<開催状況>

社会福祉協議会決算監査（平成30年5月17日）

出席2人/監事総数2人

監査内容
1 平成29年度業務監査
2 平成29年度会計監査

社会福祉協議会中間監査（平成30年11月 9 日）

出席 2 人／監事総数 2 人

監査内容
1 平成30年度中間業務監査
2 平成30年度中間会計監査

オ 平成30年度社会福祉法人指導監査（平成30年 8 月28日）

静岡県による平成 30 年度社会福祉法人の指導監査方針に基づく監査が実施されました。

2 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助

(1) 福祉体験学習のサポート

町内の小学校3校、中学校1校において全22講座を実施しました。

ア 福祉出前講座の実施

回	実施日	対象	参加者数(人)	内 容
1	平成30年6月20日	自彊小4年生	68	福祉講話と アイマスク体験
2	平成30年6月22日	住吉小4年生	81	福祉講話と アイマスク体験
3	平成30年6月27日	住吉小4年生	81	点字教室
4	平成30年7月4日	自彊小4年生	68	手話教室
5	平成30年7月5日	自彊小4年生	68	点字教室
6	平成30年7月10日	自彊小4年生	68	盲導犬教室
7	平成30年9月10日	中央小4年生	109	福祉講話
8	平成30年9月11日	中央小4年生	109	アイマスク体験
9	平成30年9月12日	自彊小4年生	68	車いす体験
10	平成30年9月13日	中央小4年生	109	福祉講話
11	平成30年9月18日	中央小4年生	109	点字教室
12	平成30年9月19日	自彊小4年生	68	高齢者疑似体験
13	平成30年10月2日	中央小4年生	55	手話教室
14	平成30年10月16日	中央小4年生	54	手話教室
15	平成30年10月23日	中央小4年生	109	高齢者疑似体験
16	平成30年10月30日	中央小4年生	109	車いす体験
17	平成30年11月7日	住吉小4年生	81	車いす体験
18	平成30年11月19日	吉田中1年生	236	福祉講話
19	平成30年11月20日	住吉小4年生	81	手話教室
20	平成30年11月27日	吉田中3年生	275	福祉講話
21	平成30年11月28日	住吉小4年生	81	高齢者疑似体験
22	平成30年12月6日	吉田中2年生	266	福祉講話

イ 参加児童の感想（抜粋）

- ・ 目の不自由なひとの大変さがわかった。（アイマスク体験）
- ・ 手話がわかれば通訳者がいなくても耳が聞こえない人とお話できるので、頑張って手話を覚えたい。（手話講座）

ウ 福祉体験学習サポート実績

事業名	福祉体験学習	
平成29年度	実施数(回)	12
	延参加者数(人)	1,176
平成30年度	実施数(回)	22
	延参加者数(人)	2,353

エ 福祉体験物品の貸出し

- (7) アイマスク 3回
- (4) 点字用品 3回
- (9) 車いす 2回
- (1) 高齢者疑似体験セット 3回

(2) 人材育成

ア 小学生を対象とした学習プログラム

町内小学校の4年生、5年生、6年生を対象に盲導犬育成施設見学を実施し、盲導犬を通じて、福祉について興味関心を持つきっかけ作りを行いました。

(7) 盲導犬育成施設見学事業実績

事業名	盲導犬の里 富士ハーネスへ行こう！	
平成29年度	訪問場所	日本盲導犬総合センター 盲導犬の里富士ハーネス（静岡県富士宮市）
	実施日	平成29年8月4日
	参加者数	23人
平成30年度	訪問場所	日本盲導犬総合センター 盲導犬の里富士ハーネス（静岡県富士宮市）
	実施日	平成30年8月2日
	参加者数	21人

(4) 参加の動機 アンケート回答 20人（※複数回答）

- ・ 福祉のことを知りたかった 9人
- ・ 盲導犬に関心があった 14人
- ・ 身近に盲導犬ユーザーがいる 2人
- ・ 身近に視覚障害のある人がある 1人
- ・ その他 10人

(9) 参加児童の感想等（抜粋）

- ・ 盲導犬が大切な存在であることや、その活躍について知ることができた。
- ・ 盲導犬について今回学んだことにより、より知りたいという気持ちが強くなった。
- ・ 盲導犬とユーザーに会ったとき声掛けの方法がわからなかったが、次に会ったときは勉強したことを思い出したいと思った。

イ 中学生以上を対象とした学習プログラム

(7) 夏のチャレンジ福祉を楽しもう！

中学2年生以上を対象として学生の夏休み期間中に、福祉施設でのボランティア体験を企画し、町内中学校のほか、近隣の高等学校、町内公共施設で周知し、活動の機会を提供しました。

a 福祉施設体験事業実績

事業名	夏のチャレンジ福祉を楽しもう！	
平成29年度	活動場所	住吉杉の子園、片岡杉の子園、
	実施日	事前学習 7月24日、25日 活動日 8月中の活動希望日
	参加者数	中学生4人
平成30年度	活動場所	片岡杉の子園、ひまわりの家
	実施日	事前学習 7月26日 活動日 7月30日、31日、8月8日、9日
	参加者数	計5人 片岡杉の子園（中学生1人、高校生2人） ひまわりの家（高校生2人）

b 参加者の感想（抜粋）

- ・ さまざまな体験を通じて、車いす利用者やお年寄りの方との接し方等を学ぶことができた。
- ・ 福祉の仕事に将来従事したいと思っているので、仕事内容がわかってよかった。

(4) サマーショートボランティア

静岡県ボランティア協会と共同開催し、町内の保育園、福祉施設でのボランティア体験をサポートしました。

a サマーショートボランティア実績

事業名	サマーショートボランティア	
平成29年度	活動場所	わかば保育園、さくら保育園、さゆり保育園、すみれ保育園、住吉杉の子園
	実施日	8月中の活動希望日
	参加者数	高校生15人、中学生7人
平成30年度	活動場所	わかば保育園、さくら保育園、さゆり保育園、すみれ保育園、住吉杉の子園、デイサービスセンターはあとふる
	実施日	8月中の活動希望日
	参加者数	高校生14人、中学生12人

b 参加者の感想等

- ・ 将来の進路を考えるために参加したが、仕事内容を知ることができたとともに、職員の臨機応変な対応を見ることができ勉強になった。
- ・ 参加初日は緊張したが、利用者や児童から積極的に話しかけてくれて嬉しく、また楽しく活動ができた。

ウ ボランティア養成講座の実施

ふくしのまちづくりボランティア講座 全2回

町民に対してボランティア活動を促し、福祉活動の充実を図ることを目的としてボランティア養成講座を実施しました。

(7) ふくしのまちづくりボランティア講座実績

事業名	ふくしのまちづくりボランティア講座
開催場所	吉田町健康福祉センターはあとふる等
実施日	第1回 平成30年12月21日 第2回 平成31年1月28日
実施内容	第1回 講話「地域づくりを楽しもう」 講師 NPO 法人静岡団塊創業塾 理事長 原田和正氏 人材育成講師 鈴木秀利氏 中国語講師 佐々木利子氏 第2回 社会参加体験バスツアー 講師 あおぞらマーケット 鴨谷美智子氏 かいらハウス 今野有子氏 くれば 原田和正氏
参加者数	第1回14人、第2回17人
ボランティア活動及び地域課題に対する住民主体の取り組みを促進するために実施した。 第1回の講座では他市の活動紹介や社会参加している上での率直な講話がされ、笑いの絶えない講演になった。具体的な将来への目標や、自分が行ってきた地域活動を続けていきたいといった前向きな感想が多く挙がった。 第2回の講座では通いの場に参加したい、立ち上げてみたいという声がある一方、そのノウハウが分からないという意見があったため、通いの場を巡る体験バスツアーを実施した。参加や立ち上げに対して前向きな意見が多く挙がっていた。	

(4) 参加者の感想等

- ・ 他の参加者のさまざまな思いが聞けて、とても学ぶことが多く、良い出会いだった。
- ・ 自分が目指したいものや、何が大切なのか考えることができた。
- ・ 実際に出向いて活動者の話を聞くことで分かることが多くあり、今後

も今回のようなツアーがあれば参加したい。

- ・ 出来ることから始めたいと思うと同時に、何かを始めるためには仲間が必要不可欠だと感じた。

3 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成

(1) 情報発信

ア 広報紙の発行

- (ア) 社協だよりの発行 年間6回 隔月発行
- (イ) センターだよりの発行 年間12回 月1回
- (ウ) WEB サイトの運営 適時更新

(2) 福祉啓発事業

ア 吉田町ふれあい広場の開催 平成30年10月28日実施

イ 講演会等の実施

ふじのくに壮年熟期活躍プロジェクト「アクティブシニア応援フェア in 吉田」に参画し、サロン活動や生活支援コーディネーターの活動についてステージ発表を行いました。また、社協ブースを設置し、社協の活動をPRしました。

ウ 社会を明るくする運動の啓発

7月の推進月間に、町内の自治会、保護司会、更生保護女性会、町内サロン、ほっとステーション等と協力し、立哨、うちわ、ティッシュペーパーの配布、懸垂幕の設置等により周知に努めました。

(3) 福祉団体等の運営支援

次の福祉団体等に対し、組織の事業運営を支援するため、活動費に対し、助成を行いました。

ア 福祉団体 8団体

身体障害者福祉会・母子寡婦福祉会・遺族会・手をつなぐ育成会・子ども会育成連合会・榛南断酒会吉田支部・精神保健福祉会秋桜・さわやかクラブ連合会

イ その他の団体 6団体

人権擁護委員・行政相談員・更生保護女性会・榛原地区保護司会・保護司会・傾聴ボランティアグループ心音

ウ 助成金額 4,310,000円

(4) 共同募金配分金の地域還元（助成事業）

住民が主体的に行う福祉活動の充実を図るため、共同募金配分金から、活動に対して助成を行いました。

ア 共同募金配分金地域活動費交付事業の実施

助成事業数 4事業
助成金額 116,000円

イ いきいきサロン活動費助成金交付事業の実施

助成団体数 6団体

助成金額 300,000 円

ウ 吉田町福祉教育活動支援金交付事業の実施

小学校 3校

助成事業数 14事業

助成金額 148,000 円

(5) 歳末たすけあい運動

ア 歳末たすけあい募金

事業実績

	平成 30 年度	平成 29 年度	昨年度対比(%)
歳末たすけあい募金 (円)	1,525,200	1,548,881	98.5

イ 歳末慰問事業

平成30年度においては、慰問対象者の見直しを図り、申請方式を取り入れました。

事業実績

(件)

平成30年度		平成29年度	
施設慰問数	26	施設慰問数	33
町・県民税が非課税の世帯かつ満75歳以上のひとり暮らし高齢者世帯で申請のあった方	1	第1種世帯 (生活保護受給者世帯)	22
町・県民税が非課税の世帯かつ身体障害者手帳1級又は2級を取得している世帯で申請のあった方	3	第2種世帯 (低所得者世帯)	8
		第3種世帯 (寝たきり者、重度心身障害者、一人親家庭、高齢者世帯等(経済的支援が必要と思われる方))	52

ウ 交流会 (お楽しみバス旅行)

ひとり暮らし高齢者の閉じこもりを防止するため外出する機会を創出するとともに、他者との交流の場を提供することを目的に事業を実施しました。

(7) 交流会実績

交流会 (お楽しみバス旅行) 実績

事業名	ひとり暮らし高齢者バス旅行	
平成 29 年度	訪問場所	エアパーク、さかな家物産店、ニコエ
	実施日	平成29年10月5日
	参加者数	40人(当事者30、ボランティア等7、職員3)
平成 30 年度	訪問場所	由比本陣公園、ゆい桜えび館
	実施日	平成30年12月5日
	参加者数	36人 (当事者28、民生委員児童委員2、ボランティア3、看護師1、職員2)

(i) 参加者の様子等

- ・ 旅行を楽しみにしている方、初めての参加で不安を抱えながらも参加される方、どなたも笑顔や会話が多くみられ、他者とのかかわりを楽しんでいる姿がみられた。
- ・ 杖を使っている方や高齢の方で歩行や階段が少し大変な方には、周りの方も声掛けをしたりゆっくり付き添ったりしながら活動されていた。

4 1 から 3 のほか、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業

(1) ボランティアセンターの運営

ア 運営実績

(件、人)

		平成30年度	平成29年度
相談対応 (件) ボランティア登録者数 (人)	団体活動	15	15
	個人活動	10	6
	人材要望	9 (8 団体)	8 (6 団体)
	人材要望マッチング	11	10
	個人登録者	43	34
	給食サービス	54	53
	ガイドボランティア	13	13
	高齢者移動支援	7	6
	はっらっ講座	37	34
	パワーリハビリ	5	5
保険加入実績	ボランティア活動保険	団体 14	団体 18
		個人 21	個人 4
		延 232	延 211
	ボランティア行事保険	団体 26	団体 27
		延 8,849	延 6,796
	福祉サービス総合補償	個人 2	個人 2
		延 1,991	延 264

イ 災害ボランティアセンターの体制の強化

災害ボランティアセンター運営研修会への参加

5 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡

(1) ネットワークの構築及び団体活動の支援体制の強化

ア ネットワークの構築

地域でのネットワークの充実を図り、地域密着型の福祉活動の展開に努めました。

(7) 吉田町民生委員児童委員協議会との連携

- a 民生委員児童委員協議会定例会及び運営委員会等への参加 各12回
- b 給食サービス事業における連携 12回 月1回
- c 心配ごと相談事業における連携 24回 月2回
- d 赤い羽根共同募金運動における連携（企業訪問）
- e 歳末慰問事業における連携（在宅慰問）

(i) 住民組織との事業連携

a 社協会費納入依頼（一般会費・特別会費）

社協会費集計実績

	平成30年度	平成29年度	昨年度対比(%)
納 入 金 額(円)	3,507,500	3,504,000	100.1
世 帯 数(戸)	7,713	7,714	99.9
納 入 世 帯 数(戸)	7,015	7,008	100.1
納 入 率(%)	91.0	90.8	
特別会費納入金額(円)	1,471,784	1,505,000	97.8
特別会員登録数(社) (新規含む)	410	403	101.7
納 入 者 数(社) (非会員含む)	271	285	95.1
納 入 率(%)	66.1	70.7	

b 社会を明るくする運動広報啓発活動の実施（7月）

c 赤い羽根共同募金運動（10月～12月）

d 歳末たすけあい募金運動の推進、募金協力（12月）

e 社協だよりの配布（町内約8,000世帯に6回配布）

(9) 実習生等の受け入れ

a デイサービスセンターはあとふる実習生等の受入れ実績

	学校名等	人数	延受入日数	内容
1	静岡県立 清流館高校	3	27	介護実習
2	吉田町立 吉田中学校2年生	3	9	職業体験学習
3	学校教職員	5	5	教職員初任者研修

b 訪問介護事業所 実習生受入れ実績

	学校名	人数	延受入日数	内容
1	静岡県立 清流館高校	6	12	訪問介護実習
2	静岡福祉大学	8	16	訪問介護実習

イ 地域活動ネットワークの構築

- (7) 相談窓口での当事者団体及び当事者団体支援の実施
- (4) 生活支援体制の把握に向けた地域活動への参加
- (7) 在宅医療・介護との連携の実施
- (c) ボランティア連絡会等の実施

ウ 組織化及び運営支援

サロン活動支援（8団体）

活動支援サロン一覧

	区 分	団体名
1	いきいきサロン (高齢者)	・片岡なごやかクラブ ・西浜つくしの会 ・新田りんどうの会 ・いきいきサロンかわしり ・北区茶の実会 ・いきいきサロン東浜
2	精神保健サロン	・ほっとサロン「くるさ」
3	子育て支援サロン	・ほっとステーション

6 共同募金事業への協力

(1) 募金運動

町内各世帯や学校に募金の協力を呼び掛けるほか、町内の事業所に対して訪問等により協力を呼び掛けました。

募金活動実績

年度	平成 30 年度		平成 29 年度		昨年度対比 (%) (納入額)
	納入額 (円)	納入数	納入額 (円)	納入数	
一般募金	1,755,450	7,022 世帯	1,742,250	6,969 世帯	100.8
住吉	657,500	2,630 世帯	642,500	2,570 世帯	102.3
川尻	336,750	1,347 世帯	332,250	1,329 世帯	101.4
片岡	339,450	1,358 世帯	347,250	1,389 世帯	97.8
北区	421,750	1,687 世帯	420,250	1,681 世帯	100.4
法人募金	752,000	203 社	831,000	239 社	90.5
学校募金	43,787	4 校	45,859	4 校	95.5
住吉小学校	11,415		10,940		104.3
中央小学校	6,144		10,555		58.2
自彊小学校	10,953		15,161		72.2
吉田中学校	15,275		9,203		166.0
その他	77,268		25,339		346.9
合計	2,628,505		2,644,448		99.5

(2) 配分金の活用

地域活動費交付事業、いきいきサロン助成金のほか、給食サービスの実施、ひとり暮らし高齢者交流会の開催、福祉施設体験や、学校での福祉教育実施等に活用しました。

(3) 災害義援金への協力

災害義援金活動への協力を行いました。

- ・ 平成28年度熊本地震 4,332 円
- ・ 平成29年7月豪雨 3,198 円
- ・ 平成30年米原市竜巻 2,857 円
- ・ 平成30年大阪府北部地震 3,480 円
- ・ 平成30年度7月豪雨 14,378 円
- ・ 平成30年度北海道胆振東部地震 3,683 円

7 居宅介護支援事業の経営

(1) 事業内容

介護支援専門員（ケアマネジャー）による介護保険認定者へのケアプラン作成及び相談支援並びにケアプラン作成に伴う担当者会議の開催（対象者に対し年1回以上）

(2) 計画受入数及び事業収入の推移

年度	ケアマネ数(人)	計画件数(件)		合計 (月平均)	介護保険収入(円)
		要介護	要支援		
29	3.2	1,223 (101.9)	267 (22.3)	1,490 (124.2)	19,052,800
30	3.8	1,413 (117.8)	264 (22.3)	1,677 (139.8)	22,188,140

8 老人デイサービス事業の経営

(1) 事業内容

デイサービスセンターはあとふるの開設

(2) 実施状況及び事業収入の推移

事業実績

年度	開設日数	利用者数(人)	1日平均 利用者数(人)	介護保険収入(円)
29	308	6,761	22.0	56,935,638
30	307	6,540	21.3	55,239,551

(3) 介護度別利用状況 (%)

年 度	30	29
事業対象者	4.6	6.3
要支援1	8.9	6.5
要支援2	22.0	12.3
要介護1	29.0	34.8
要介護2	17.3	11.0
要介護3	9.6	18.0
要介護4	5.8	7.3
要介護5	2.8	3.8
合 計	100.0	100.0

9 地域包括支援センターの経営

(1) 事業内容

ア 包括的支援事業

(7) 地域包括支援センター業務

(4) 総合相談支援事業

- (リ) 地域での包括支援ネットワーク構築
- (ロ) 権利擁護業務
- (ハ) 介護支援専門員個別支援・相談業務
- (ニ) 包括的・継続的ケアマネジメント体制構築
- (ホ) 介護予防ケアマネジメント業務
- (ヘ) 地域（個別）ケア会議業務
- イ 指定介護予防支援事業
 - 予防給付マネジメント
 - (1) 介護予防サービス計画の作成
 - (イ) サービス事業所等の関係機関との連絡調整等
 - (ロ) 業務の委託
- ウ 認知症総合相談事業
 - (1) 認知症初期集中支援推進事業
 - 認知症早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築
 - (イ) 認知症地域・ケア向上事業
 - a 認知症地域支援推進員を中心とした地域支援体制の構築
 - b 相談支援
- エ 家族介護支援事業
 - 家族介護者の支援を目的として介護者のつどいを開催し、介護者同士の交流会や介護に関する知識の普及のための教室を実施しました。
- オ 在宅医療、介護連携に関する相談支援事業
- カ 吉田町介護予防、生活支援サービス事業（訪問型サービス C）

(2) 相談対応

相談対応実績 (件)

区分	平成30年度		平成29年度	
	相談内容	件数	相談内容	件数
相 継 談 続	要支援 1・2	1,745	要支援 1・2	1,582
	事業対象者	937	事業対象者	778
総 合 相 談	在宅介護	1,353	在宅介護	1,537
	一般介護予防	12	一般介護予防	7
	総合相談（その他）	0	総合相談（その他）	14
	施設入所	34	施設入所	26
	権利擁護	31	権利擁護	44
	高齢者虐待	80	高齢者虐待	85
	ケアマネ支援 （ケアマネジメント）	205	ケアマネ支援 （ケアマネジメント）	162
	ケアマネ支援（その他）	0	ケアマネ支援（その他）	45
	その他	74	その他	26
	合計	4,471	合計	4,306

(3) 相談方法

相談方法及び実績

(件)

相談方法	延件数	内訳	
		継続相談	総合相談
電 話	1,737	747	990
来 所	396	62	334
訪 問	2,217	1,819	398
その他	121	54	67
合 計	4,471	2,682	1,789

(4) 相談経路

総合相談における相談経路の状況 (件)

経路	延件数
本人	230
家族	645
介護支援専門員	507
民生委員児童委員	44
サービス事業所	41
医療機関	95
地域住民	17
吉田町役場	143
見守りネットワーク	6
その他	61
合計	1,789

(5) 地区別相談割合

総合相談における地区別相談割合の状況

地区名	相談割合(%)	地区名	相談割合(%)
住吉	38	片岡	20
川尻	21	北区	21

(6) その他の活動状況

平成30年度		平成29年度	
内容	回数	内容	回数
ケアマネの会（吉田町）	16	ケアマネの会（吉田町）	14
ケアマネ連絡会（吉田・牧之原市）	5	ケアマネ連絡会（吉田・牧之原市）	4
ケアマネ勉強会	3	ケアマネ勉強会	2
広報活動（包括）	31	広報活動	17
定時民生委員児童委員協議会への出席	11	定時民生委員児童委員協議会への出席	10
地域ケア会議	16	地域ケア会議	7
包括内カンファレンス	11	包括内カンファレンス	10
センター内打合せ	104	センター内打合せ	77
職員派遣	4	職員派遣	3
社協内部管理者会議	13	社協内部門長・責任者会議	12
研修（受講）	114	研修（受講）	33
研修（開催）	7	研修（開催）	4
地域密着型運営推進会議	16	地域密着型運営推進会議	14
会議及び連絡会（参加）	29	会議及び連絡会（参加）	31

10 老人居宅介護等事業の経営

(1) 事業内容

訪問介護員（ホームヘルパー）による介護保険認定者への訪問介護を実施しました。

(2) 利用者数及び事業収入の推移

利用者数及び事業収入の推移

年度	要介護者数 (月平均)	要支援者数(人) (事業対象者含む) (月平均)	合計(人) (月平均)	介護保険収入(円)
29	297 (24.8)	263 (21.9)	560人 (46.7)	17,364,208
30	306 (25.5)	209 (17.4)	515 (42.9)	18,409,717

(3) 稼働時間数の推移

稼働時間数の推移			(時間)
年度	要介護者(月平均)	要支援者(事業対象者含む) (月平均)	合計(月平均)
29	3,620(301.7)	2,030(169.2)	5,650(470.8)
30	3,065(255.4)	1,543(128.6)	4,608(384.0)

11 障害福祉サービス事業の経営

(1) 事業内容

ア 居宅介護事業

訪問介護員（ホームヘルパー）による、障害の認定を受け居宅において支援を必要とする方への訪問介護を実施しました。

居宅介護事業の利用者数及び事業収入の推移

年度	利用者数(人)	月平均(人)	障害福祉サービス収入(円)
29	246	20.5	8,443,834
30	225	18.8	8,642,709

イ 重度訪問介護事業

訪問介護員（ホームヘルパー）による、重度の障害を有する方へ訪問介護を実施できる体制を整えましたが、利用者はありませんでした。

12 移動支援事業の経営

(1) 対象者

視覚障害により、移動に困難を有する方と、知的障害又は精神障害により、行動上困難を有する方を対象に事業を実施しました。

(2) 移動支援事業利用者数及び事業収入の推移

年度	利用者数(人)	月平均(人)	障害福祉サービス収入(円)
29	180	15.0	1,956,219
30	166	13.8	1,685,662

13 地域支援事業の経営

在宅高齢者の健康増進、閉じこもり予防を図る事業を実施したほか、介護者の負担軽減を図り、リフレッシュにつながる事業を実施しました。

(1) 一般介護予防事業

ア 認知症予防事業（はつらつ講座）

はつらつ講座実績

年度	延参加者数(人)	回数等
29	1,412	町内9か所、開講数延 105回
30	1,473	町内9か所、開講数延 108回

イ 介護予防普及啓発事業（骨格貯筋体操教室）

骨格貯筋体操教室実績

年度	延参加者数(人)	回数
29	383	4 教室(各 10 回)
30	383	4 教室(各 10 回)

ウ 介護予防普及啓発事業（おいしい集い）

おいしい集い実績

年度	延参加者数(人)	回数(回)
30	102	7

エ 介護予防普及啓発事業（健康マージャン教室）

健康マージャン教室実績

年度	延参加者数(人)	回数(回)
30	184	11

オ 運動器の機能向上事業（パワーリハビリ教室）

パワーリハビリ教室実績

年度	延参加者数(人)	回数(回)
29	411	60
30	360	60

カ 運動器の機能向上事業（生きがいトレーニング）

生きがいトレーニング実績

年度	延参加者数 (人)
29	1, 284
30	1, 635

(2) 外出支援サービス

パワーリハビリ教室参加者の送迎実績

年度	利用者数(人)	延送迎回数(回)
29	10	131
30	8	85

(3) 家族介護支援事業(公益を目的とする事業)

介護者のつどい実績

年度	事業内容	延参加人数	回数
29	家族介護教室事業	49	3
	家族介護交流事業	33	3
30	家族介護教室事業	60	3
	家族介護交流事業	59	3

(4) 産前産後サポート事業

ア 対象者

訪問介護員（ホームヘルパー）による支援が、必要と判断された妊婦及びおむね1年までの産婦と児

イ 実績

年度	利用人数(人)	回数(回)	事業収入(円)
30	3	11	113,300

14 福祉相談事業

(1) 心配ごと相談

月2回相談所を開設し、住民が抱える生活の不安に対し、弁護士、人権擁護委員、行政相談員、民生委員児童委員が相談員として対応しました。

心配ごと相談実績

年 度	平成 30 年度	平成 29 年度
開催数 (回)	24	24
相談延件数(件)	53	35
相 談 内 容	借金4件(全体の7.5%) 財産5件(全体の9.4%) 離婚6件(全体の11.3%) 家族5件(全体の9.4%) 人権2件(全体の3.8%) 生計1件(全体の1.9%) その他(金銭トラブル、土地相続、終活等)30件(全体の56.7%)	借金6件(全体の17.1%) 財産6件(全体の17.1%) 離婚5件(全体の14.3%) その他(借地の管理、雇用、年金、詐欺、交通事故等)18件(全体の51.5%)

(2) 援護事業

単身生活上の不安の軽減を図るほか、福祉用具等の貸出し等を行い、在宅福祉の向上及び個別ニーズの解消に努めました。

ア 福祉用具等の貸出在宅での介護負担の軽減を図りました。

福祉用具等貸出実績

事業内容		平成 30 年度		平成 29 年度	
1	車いす貸出事業	短期貸出	利用者 74 人 貸出数延 94 台	利用者 61 人 貸出数延 96 台	
		長期貸出	利用者 7 人 貸出数延 7 台	利用者 8 人 貸出数延 8 台	
2	小型リフト車貸出		利用者 40 人 貸出数延 57 回	利用者 53 人 貸出数延 68 回	

イ ひとり暮らし高齢者の見守り

(7) 給食サービス 実人数 89人、配食回数 12回 月1回

(i) 緊急通報装置設置事業 設置件数 38件

(7) 交流会 実施日 平成31年3月20日 参加者 56人

(対象者 24人、のびるの会 25人、民生委員児童委員7人)

(3) 生活福祉資金貸付事業（静岡県社会福祉協議会取扱い）

福祉資金貸付事業による低所得世帯等の更生支援に努めました。

相談対応数 (件)

事業内容		事業実績	
		平成 30 年度	平成 29 年度
1	生活福祉資金貸付事業	新規相談対応 25	新規相談対応 81
		申請 11	申請 8
		貸付決定 5	貸付決定 8
		不承認 5	不承認 0
		取下げ 1	取下げ 1
2	臨時特例つなぎ資金貸付事業	相談対応数 1	相談対応数 0

(4) 生活困窮者自立支援事業

「生活支援・相談センター」を設置し、個別相談に対応しました。

相談対応実績 (世帯)

		世帯数（重複世帯有）	
		平成 30 年度	平成 29 年度
相 談	世 帯 数	93	129
	う ち 新 規	35	45
対応内容	情 報 提 供 ・ 相 談 の み	9	19
	他 機 関 へ つ な ぐ	3	7
	プ ラ ン を 作 成	11	10
	住 居 確 保 給 付 金	2	2
	福 祉 資 金	1	3
	就 労 支 援 事 業	1	8
	家 計 相 談 支 援 事 業	5	0
	生活必需品等の給付・貸与	11	0
	緊 急 食 糧 支 援	33	61
	就 労 支 援 実 施 数	10	9
	一 般 就 労 決 定 数	7	10
延	相 談 回 数	236	292

- (5) 司法書士による権利擁護相談
相談日設置回数 12回 月 1 回
相談件数延べ 21件

15 善意銀行貸付事業

世帯更生支援相談 60件 貸付件数 0 件

生活の改善を望む住民に対し、福祉資金の貸付事業を活用するほか、福祉施策の利用につなげる等、世帯の自立更生支援に努めました。

16 吉田町老人福祉センターの経営

趣味クラブの運営について助言指導を実施、シニア層の教養の向上及び、健康増進を図りました。

- (1) 巡回マイクロバスを毎週 2 回（火曜日・金曜日）
- (2) 若返り会の開催 6 回 隔月開催
- (3) 健康体操教室 15回
- (4) 趣味クラブへの支援（随時）
- (5) さわやかクラブへの支援（随時）

平成29年度老人福祉センター部屋別利用状況調べ

単位:人

部屋名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(部屋別)
和室(3室)	150	188	159	174	155	155	172	212	175	187	145	194	2,066
大広間	429	499	493	539	420	389	418	508	418	532	422	456	5,523
浴室	76	79	87	75	88	74	76	79	78	60	61	55	888
リラックスルーム	502	540	602	558	551	551	532	502	472	467	490	508	6,275
月計	1,157	1,306	1,341	1,346	1,214	1,169	1,198	1,301	1,143	1,246	1,118	1,213	14,752

平成30年度老人福祉センター部屋別利用状況調べ

単位:人

部屋名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(部屋別)
和室(3室)	139	167	138	211	128	148	155	135	163	154	137	124	1,799
大広間	386	443	418	117	380	368	505	469	404	426	432	499	4,847
浴室	61	65	64	77	78	47	76	46	44	55	72	59	744
リラックスルーム	549	480	494	509	513	415	481	521	440	446	502	540	5,890
月計	1,135	1,155	1,114	914	1,099	978	1,217	1,171	1,051	1,081	1,143	1,222	13,280

17 福祉サービス利用援助事業

適切な福祉サービスを利用できるよう手続き援助を行うほか、金銭管理の援助を行うなど、生活支援員とともに利用者の日常生活を支えました。

支援実績

支援活動内容	平成 30 年度	平成 29 年度
利用者数 (人)	5	5
利用者支援会議への参加(回)	4	3
訪問支援 (回)	75	77

18 その他この法人の目的達成のため必要な事業

(1) 高齢者移動支援事業

自力では外出が困難である高齢者に対し、運転ボランティアの協力の下、通院等の送迎を行い、外出支援に努めました。

事業実績

年度	利用登録者数(人)	延利用回数(回)
29	19	51
30	16	80

(2) 生活支援コーディネーター事業（地域支え合い推進員）

生活支援コーディネーター事業を受託し、地域活動の支援を実施しました。

ア 支援体制の把握

いきいきサロン等町内の地域活動に参加して支援を実施しました。

地域活動への参加 18回

イ 不足するサービス及び支援の創出

社会参加を促すための情報発信として、地域の通いの場をまとめた「地域支え合い活動応援ブック」の作成をしました。

ウ サービス及び支援の担い手の養成

(ア) ふじのくに壮年塾期活動プロジェクト「アクティブシニア応援フェア in 吉田」にて担い手の育成に向けた講演を行いました。

(イ) ボランティア講座の開催 2回

第1回 「地域づくりを楽しもう」 参加者 14人

第2回 「社会参加体験バスツアー」 参加者 17人

エ 元気な高齢者等が担い手として活躍する場の確保

ボランティア活動の広報、紹介、マッチング

オ 関係者間の情報提供・サービス提供主体間の連携の体制づくり

介護予防のための地域個別ケア会議への出席 月1回

協議体（高齢者の生活を支え合う会）への出席 1回

19 公益を目的とする事業

(1) 在宅介護者家族交流事業の経営

家族介護教室事業 3回

家族介護交流事業 3回

(2) 吉田町健康福祉センターの経営

健康福祉センターの指定管理事業を受託し、施設の管理維持に努めました。

平成29年度健康福祉センター部屋別利用状況調べ

単位:人

部屋名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(部屋別)
ミーティングルーム	370	321	436	361	369	419	325	429	447	289	330	425	4,521
プレイルーム	111	116	195	158	170	214	115	215	201	80	134	138	1,847
生きがい工房	219	222	294	325	302	305	250	287	396	285	328	239	3,452
ボランティアビューロー	250	206	254	303	260	259	255	264	217	227	191	231	2,917
研修室	824	813	859	716	699	838	847	733	845	436	644	1,077	9,331
月計	1,774	1,678	2,038	1,863	1,800	2,035	1,792	1,928	2,106	1,317	1,627	2,110	22,068

平成30年度健康福祉センター部屋別利用状況調べ

単位:人

部屋名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(部屋別)
ミーティングルーム	342	344	409	592	308	388	410	357	358	351	397	298	4,554
プレイルーム	106	126	159	144	86	174	130	126	190	90	116	102	1,549
生きがい工房	291	315	380	385	437	238	341	320	457	369	361	358	4,252
ボランティアビューロー	218	261	336	235	185	203	233	223	193	209	252	225	2,773
研修室	713	605	646	762	684	707	927	876	852	525	660	1,167	9,124
月計	1,670	1,651	1,930	2,118	1,700	1,710	2,041	1,902	2,050	1,544	1,786	2,150	22,252

社会福祉法人吉田町社会福祉協議会の事業報告の附属明細書について

社会福祉法第45条の27第2項において、「事業報告」及び「事業報告の附属明細書」は、毎会計年度ごと作成することが義務付けられています。このうち「事業報告の附属明細書」は、社会福祉法施行規則により『事業報告の内容を補足する重要な事項をその内容としなければならない。』と規定されています。しかし、その具体的な事項についての定めはありません。

こうしたところから、本会の「事業報告」は、「事業報告の附属明細書」に相当すると考えられる事項も「事業報告」に記載をして作成しております。このため、事業報告の内容を補足すべき重要な事項は、「事業報告」ですでに記載している事項と重なるため、社会福祉法で規定されている「事業報告の附属明細書」のみの作成はしていません。